

神奈川県労働局長による建設工事現場パトロールを実施 ～横浜市市庁舎移転新築工事～

神奈川県労働局（局長 三浦宏二）は、平成 30 年 12 月 5 日（水）に、県内の建設業者の安全意識を高め、労働災害の防止の徹底を図ることを目的として、建設工事現場パトロールを実施しました。パトロールには神奈川県労働局から局長、安全課長ほか全 4 名と建設業労働災害防止協会神奈川県支部から支部長、専務理事ほか全 3 名が参加しました。

今回パトロールを行ったのは、竹中・西松建設共同企業体が横浜市北仲地区に建設中の横浜市市庁舎移転新築工事です。地上 32 階の高層ビルの建築工事で、進捗率 45 パーセント、2020 年春の竣工に向けて、現在 29 階部分の鉄骨組立が行われている段階でした。

パトロールでは、躯体工事や設備、内装工事などのようすを点検しましたが、墜落防止対策などに問題はなく、管理状況は良好でした。

躯体の状況

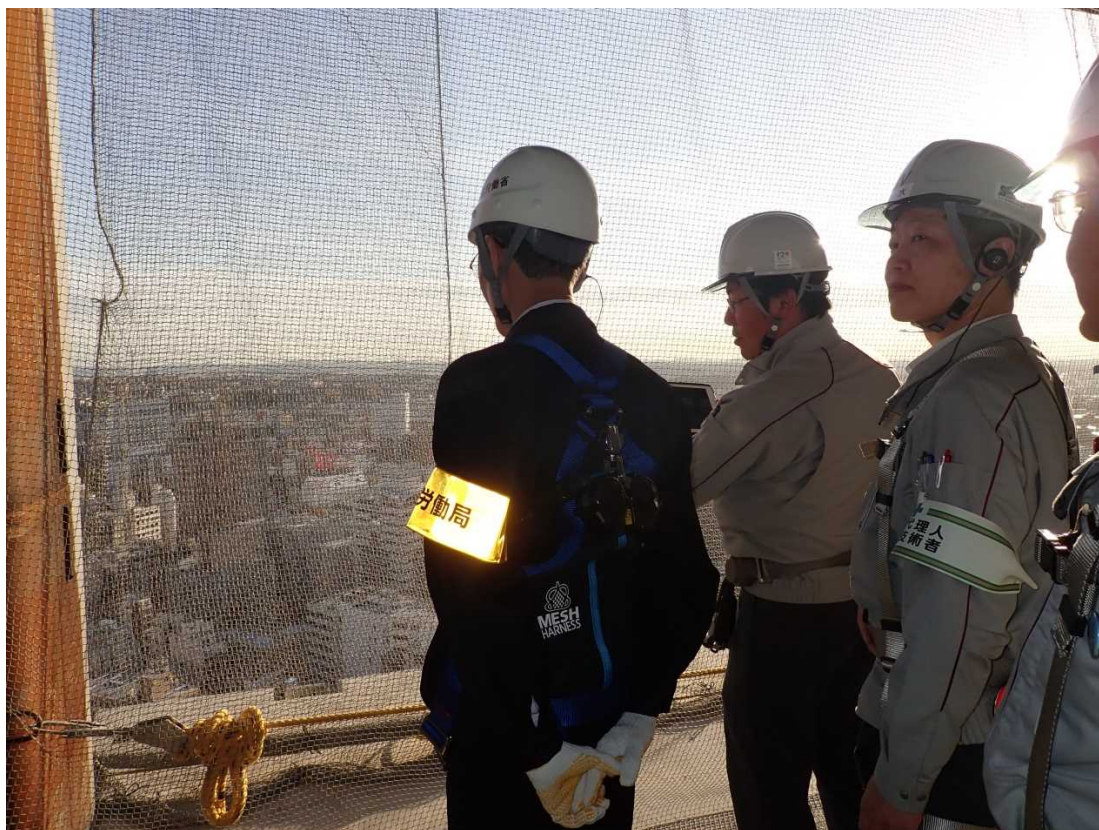
手前は地上 8 階建の議会棟



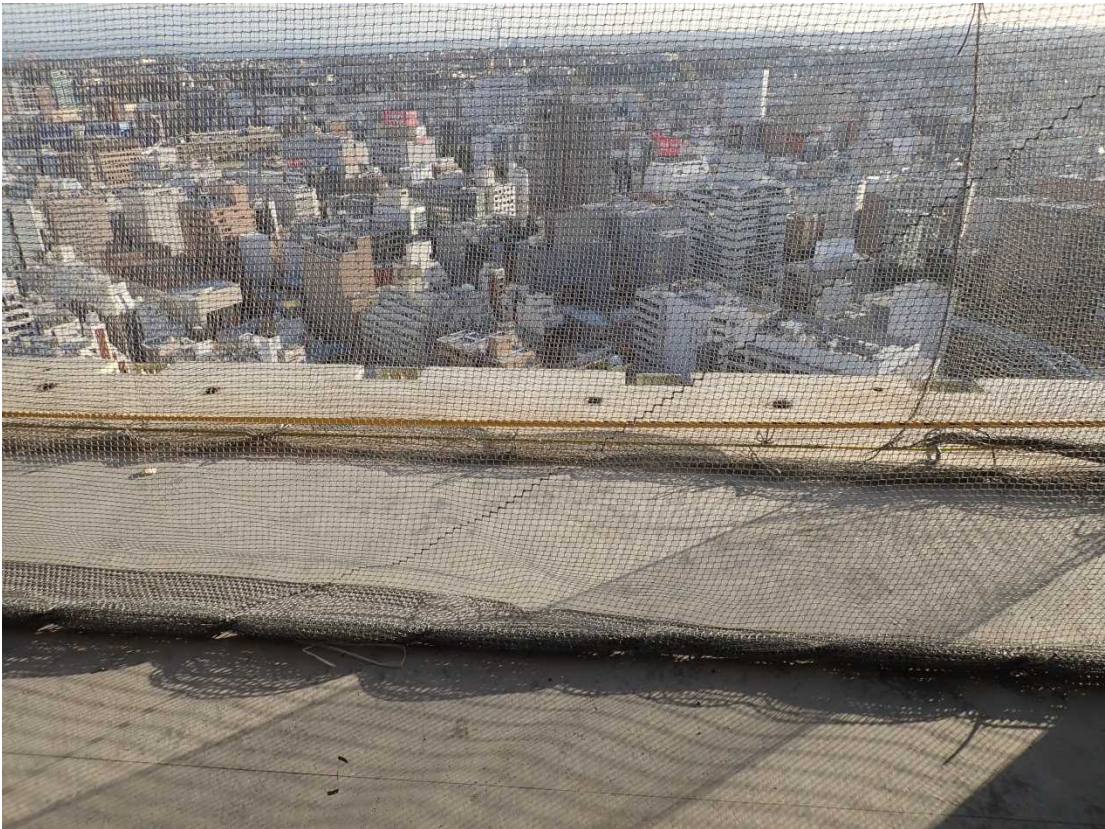
工事概要等の説明



墜落防止措置







高所作業車の管理



先行ルーム



朝礼会場の掲示板



女性専用休憩室「こまちルーム」



講評の様子

